

**【第254号 紙面案内】**

- 第2面……………常任理事会報告など
第3面……………産学交流シンポジウム日程
第6面……………第59回全国研究大会自由論題募集

産学交流シンポジウム・イン・富山《開催のご案内》

～「地域企業の人材創造：ビジョンと実践」～

水谷内 徹也（富山大学）

「イノベーションは辺境から生まれる」——この言葉は、ご承知のように、新しいビジネスのスタイルを創るイノベーションは中枢よりも、むしろ辺境（地域）から起こる場合が多いことを示唆しています。その具体例をあげれば、受験用出版のベネッセコーポレーションは岡山から、下着の新流通システムを創出したセシールは四国の高松、洋菓子の新供給形態を創ったシャトレーゼは山梨等々、地域からのイノベーション創発のケースは枚挙にいとまがありません。このような地域による新ビジネス・スタイル創造のルーツは、ビジネス・イノベーションを担う人材（人的資源）によるものであり、この人的資源の発掘から育成・教育といった一連のプロセスこそが近未来の経営力強化の最重要要件であると言っても過言ではないように思われます。

今般、このような観点から、「地域企業の人材創造：ビジョンと実践」をメイン・テーマとして、来る12月5日・6日の両日にわたり、北陸・富山にて産学交流シンポジウムを開催することにいたしました。当シンポジウムは、第1日目（5日）は、地元富山において独自の技術力を発揮して電子部品や精密機械部品等を製造販売し、グローバルな事業展開を図っている立山科学工業(株)を視察し、活力ある富山県企業の経営実態を実感していただくことに主眼をおきました。また、第2日目（6日）のシンポジウムは、富山県内屈指の代表的企業3社の人事担当者（北陸電力(株)人事労務部部長・中島尚夫氏、(株)スギノマシン企画部長・宮尾宗嗣氏、立山科学工業(株)管理部人材開発グループ・グループマネジャー・正橋哲治氏（調整中））をお招きし、各社のオリジナリティ溢れるビジョン主導の人材創造の実践の秘策を披露していただくとともに、参加者との活発な議論の場となることを期しております。

会員ならびに非会員の方々も含めて、皆さまの当シンポジウムへの積極的なご参加を切望いたします。

常任理事会報告

○第2回常任理事会報告

平成20年10月11日(土)、11時30分より東京富士大学本館4階142教室にて、日本経営教育学会平成20年度第2回常任理事会が開催されました。以下、審議の結果を報告します。

1. 第58回全国研究大会について

札幌大学で開催される第58回全国研究大会について最終確認を行った。また、東洋大学で開催される第59回全国研究大会について準備状況について報告があった。

2. 産学交流シンポジウムについて

産学交流シンポジウムが平成20年12月5日(金)～6日(土)に富山で開催されるとの報告があった。

3. 会員入退会について

会員の入退会について、新たに個人会員10名の入会申込と16名の退会の申し出があり、それぞれ承認された。

本理事会承認分と併せて、会員数は個人会員802名、法人会員6社となった。

平成20年度第2回九州部会報告

九州部会長 杉原 英夫

平成20年度第1回九州部会が、9月2日の14時から17時まで、九州産業大学10階中会議室で開催され、20名の会員が参加された。

第1報告テーマ：「大学における若者(学生)におもう」

報告者：井沢 良智(九州産業大学)

第2報告テーマ：「転換社債型新株予約権付社債以外の新株予約権付社債の会計処理」

報告者：梅田 勝利(中部学院大学)

第3報告テーマ：「地域における企業家育成-福岡県における企業家活動を中心に-」

報告者：小野瀬 拡(九州産業大学)

いずれの報告にもフロアから質疑が出され、活発な議論が行われた。報告終了後、17:30から懇親会が盛大に開催された。

平成20年度第2回部会は、来年の3月上旬に開催予定です。具体的な日程は、まもなく決定しますので、改めてご案内いたします。現在、報告者を募集しております。ご希望の方はお早めに、九州部会長杉原英夫(代理：八島雄士 yashima@kyukyo-u.ac.jp)へお申し出ください。

第12回 産学交流シンポジウム・イン・富山（ご案内）

■テーマ：「地域企業の人材創造：ビジョンと実践」

■日 時：2008年12月5日(金)・6日(土)

■場 所：企 業 視 察（12月5日(金)）立山科学工業株式会社

（〒930-1305 富山市下番30 TEL076-483-4012）

シンポジウム（12月6日(土)）富山電気ビルディング

（〒930-0004 富山市桜通り3-1 TEL076-432-4111）

■会 費：¥3,000（5日・6日の両日ご参加の方）、¥2,000（6日のみご参加の方）、
¥1,000（5日の企業視察のみご参加の方）

■一般（会員以外）および院生の方の参加も歓迎します。

《プログラム》

		13:20	14:00~16:00
12月5日(金)		J R 富山駅北口・集合	企業視察 (立山科学工業株)
	10:00~	10:30~12:30	12:45~14:00
12月6日(土)	受 付 (富山電気ビル5F)	シンポジウム (富山電気ビル5F中ホール)	懇親会(軽食) (富山電気ビル4F8号室)

■ 12月5日(金) 企業視察：立山科学工業株

○13:20 J R 富山駅北口に集合願います。

○14:00~16:00 企業視察：立山科学工業株

■ 12月6日(土) シンポジウムおよび懇親会：富山電気ビル5F・中ホールおよび4F8号室

○10:00~10:30 受付

○10:30~10:40 挨拶 日本経営教育学会会長 小椋 康宏 氏

○10:40~12:30 シンポジウム：富山電気ビル5F中ホール

《討論者》 北陸電力(株)人事労務部部長 中島 尚夫 氏

(株)スギノマシン企画部部長 宮尾 宗嗣 氏

立山科学工業株(人事担当者、社内調整中)

《コーディネーター》 日本経営教育学会中部部会長・中部大学 辻村 宏和 氏

○12:40~14:00 懇親会：富山電気ビル4F・8号室

■お申し込みは、ご氏名、ご所属、および上記の会費欄の参加のいずれかを明記のうえ、
2008年11月30日(日)までに、下記のEメールアドレスをお願いいたします。

●富山大学経済学部・水谷内（ミズヤチ）徹也

mizuyach@eco.u-toyama.ac.jp

TEL 076-445-6458（研究室直通） FAX 076-445-6419（経済学部）

平成20年度 第2回関東部会報告

藤井 辰朗（東洋大学大学院）

10月11日（土）13時より平成20年度第2回関東部会が東京富士大学にて約30名の参加者を得て開催された。

第1報告は羽田明浩氏（立教大学大学院）が「病院の業績格差要因—赤十字病院93病院の業績格差要因に関する考察—」というテーマで報告を行った。コメンテーターは高橋淑郎氏（日本大学）、司会者は藤森大祐氏（東京富士大学）であった。羽田氏は病院間における業績格差に着目し、その要因について考察した。羽田氏によれば、わが国にはおよそ8900の病院があり、その7割は赤字であると言う。高齢化社会が進むわが国において、病院経営の問題は大変重要な課題であり、経営学の観点から考察を行うのは意義深い。羽田氏は、日本赤十字の93病院を対象に23の業績指標を用いた多変量解析によって、病院の業績格差には「規模」や「職員数」、「手術件数」が影響し、「規模の経済」が作用すると指摘した。日本の病院では規模の経済は作用しにくいという先行研究もあるが、民間病院を交えた考察では異なる結果となる可能性もあり得ることを示した。

第2報告は石毛昭範氏（拓殖大学）が「管理職の労働時間管理に関する一考察」というテーマで報告を行った。コメンテーターは服部治氏（松蔭大学）、司会者は安田賢憲氏（東京富士大学）であった。石毛氏は、いわゆる「名ばかり管理職」をめぐる問題をきっかけに、それまで経営学（人的資源管理論）であまり取り上げられることがなかった「労働時間管理」について真っ向から問題提起を試みた。その中で印象に残ったことは、管理職は「量的変化」や「質的变化」が起こっているが、法律上の「管理監督者」と実際の「管理職」との間に解離の乖離が広がっているという点であった。石毛氏の報告は、実に多岐にわたり重厚な内容であったが、一方で簡潔にまとめられ、その構成の上手さに感嘆した。

第3報告は関口和代氏（東京富士大学）が「組織市民行動が経営活動に及ぼす影響—フィットネスクラブにおける調査結果を中心に—」をテーマに報告を行った。コメンテーターは加藤茂夫氏（専修大学）、司会者は谷内篤博氏（文京学院大学）であった。関口氏は「職場における組織市民行動の状況」や「組織市民行動に影響を与える原因」を検証した。フィットネスクラブを対象とした調査の目的は、フィットネスクラブの付加価値向上およびシェア拡大に向けたアクションプランの作成にある。組織市民行動に影響を与える原因としては、職場満足と職務・組織コミットメントとの関係、上司や経営幹部のリーダーシップとの関係などが検証された。調査方法は無記名アンケート方式を採用し、有効回答率は94.4%と高いものであった。この調査結果から、職務満足が高く、上司との関係も良好である従業員ほど組織市民行動を行う傾向があることが明らかとなった。フロアからは組織市民行動の「市民」は社会との繋がりが無い状態では不適切ではないかとの指摘があったが、この言葉は先行研究を訳したもので、関口氏自身も今後その辺りを考慮しながら検討すると回答した。

3つの報告いずれにおいても、コメンテーターやフロアから有意義な提言や質問が出され、活発な部会であった。なお今回は、懇親会を行わずに、コーヒープレイクの時間を長めにとった。質疑応答の中で議論しつくせなかった内容や、会員間の交流が活発に行われ、会員相互の友好が深まった。報告内容の議論は、更なる研究への視野を広げ、とても意義深い時間となった。

◇◇関東部会開催のご案内◇◇

- 日 時：12月20日(土) 13：30～17：00
- 場 所：立正大学大崎キャンパス（JR山手線大崎駅・五反田駅徒歩5分）
11号館11階第5会議室
- 報告プログラム
 - ※報告：40分、コメント・質疑20分
 - 第1報告：13：30～14：30
 - 報告者：八木麻衣子氏（立教大学大学院ビジネスデザイン研究科博士後期課程）
 - テーマ：「医療の質の評価基準に見る患者権利の強まりと情報開示の必要性」
 - コメンテーター：福原康司氏（専修大学）
 - 司会者：小川達也氏（東京富士大学）
(10分休憩)
 - 第2報告：14：40～15：40
 - 報告者：荒木真貴子氏（創価大学大学院経済学研究科博士後期課程）
 - テーマ：「SRI（社会的責任投資）と年金についての議論」
 - コメンテーター：青淵正幸氏（立教大学）
 - 司会者：中村公一氏（駒澤大学）
(20分休憩：コーヒープレイク)
 - 第3報告：16：00～17：00
 - 報告者：平野賢哉氏（埼玉学園大学）
 - テーマ：「派遣・請負の2009年問題」
 - コメンテーター：村上良三氏（ハリウッド大学院大学）
 - 司会者：谷内篤博氏（文京学院大学）
- 参加費等：参加費 500円、懇親会費 3,500円
- お問い合わせ：関東部会長・谷内篤博（049-261-7938, yachi3jp@yahoo.co.jp）

◇◇中部部会開催のご案内◇◇

平成20年度第2回中部部会は、平成21年3月21日(土) 愛知産業大学名古屋サテライトで開催の予定です。中部部会事務局では随時報告者募集を行っております。報告を希望される方は、事務局・草田清章（愛知産業大学名古屋サテライト 名古屋市熱田区金山1-6-9 TEL:052-683-0021 kusada@asu.ac.jp）までお知らせください。

機関誌投稿論文募集

機関誌委員長 森川 信男（青山学院大学）

2009年1月末日締め切りで、機関誌『経営教育研究』第12巻第2号（2009年6月発行予定）への投稿論文を募集しています。会員の皆さまの積極的なご投稿をお待ちしております。なお、本号は「日本経営教育学会創立30周年記念号」となりますので、どうぞ奮ってご投稿のほどよろしくお願い申し上げます。

第59回全国研究大会自由論題募集

平成21年6月26日(金)～6月28日(日)に東洋大学にて開催される第59回全国研究大会での自由論題報告を募集します。下記要領に従ってお申し込みください。

《応募要領》

1. 応募資格：本学会の会員
ただし、1年以内に報告された方の応募はご遠慮ください。
2. テーマ：本学会の目的に沿う以下のもの
 - ・経営体の諸活動に関する実践的経営の研究
 - ・日本的経営および国際的経営の研究
 - ・経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究
3. 応募書類：応募には表紙、報告要旨、参考文献の3点が必要です。
 - ・表紙（A4サイズ1枚）……以下を明示してください。体裁は任意です。
 - ①氏名（漢字・仮名およびアルファベット）
 - ②報告テーマ
 - ③所属（現職および職位）
 - ④連絡先（自宅および所属先の電話番号・FAX番号、E-mailアドレス）
 - ・報告要旨（A4サイズ、用紙縦置き横書きで2枚以内）
要旨には問題意識、論点、結論等を必ず含めてください。
 - ①字数は2,000字（40字 30行）、10.5ポイント、余白は上下左右各25mm
 - ②報告テーマはゴシック体、要旨は明朝体
 - ・参考文献（A4サイズ1枚）……書式は報告要旨に準じます。
参考文献は内容と密接に関係するものにとどめ、関係の薄いものは控えてください。
上記書類を締切期日までに郵送または電子メールでお送りください。
4. 締切：平成21年1月23日(金) 必着
5. 応募先・問い合わせ先：日本経営教育学会事務局（担当：魚住 良三）
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4 株式会社山城経営研究所内
TEL：03-3264-2100 FAX：03-3234-9988 name@kae-yamashiro.co.jp

機関誌投稿論文、日本経営教育学会山城賞および山城賞奨励賞、アメリカ経営学会経営教育部会への派遣報告者、韓国経営教育学会への派遣報告者のお申し込み・お問い合わせは、事務局までお願いいたします。

編集後記

会報254号をお届けします。日本経営教育学会の諸活動への会員各位の積極的なご参加を切望しております。

樋口弘夫・杉田あけみ

発行 日本経営教育学会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4
株式会社山城経営研究所（担当：魚住）
TEL 03-3264-2100 FAX 03-3234-9988
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: http://www.j-keieikyoku.jp/

印刷 株式会社フジヤマ印刷 〒03-3260-3801
E-mail: fujiyama@mx7.ttcn.ne.jp